



発行所 磐城日日新聞社 福島県小名浜町曙51番地 電話代表397番 振替台帳31,355番 編集長 藤野 邦 発行人 藤野 邦

社会に出る青年の門出

講和一春の「成人祭」

各地にも多彩な行事で祝福

本十五日は大人となったことを自覚し、自から生き抜こうとする青年を國を挙げて祝福する成人祭を各地で行う。縣下の各市町村では講和調印後初めて迎える獨立日本を双肩にのり青年の輝かし人生への門出を祝う日として成人證書の授與と行いこの日にふさわしい行事を催して青年男女を激励するが縣社會教育課では一人立ちするこれらの人々に対して

湯本小の創立記念

予算五十四萬を計上

湯本小学校創立八十周年記念行事運営審議委員會は十二日午後六時から委員三十数名集まり、役員會議室で開き四月二十日に行事を行うことになった。なお予算は五十四萬圓で、その内訳はピアノ購入費一萬圓、校歌制定費四十七萬圓、校歌制定費二萬五千圓、校歌披露費二千圓、町内、中、高の生徒、児童學費五千圓、郡内小、中、高の書展費六千圓、七十才以上の敬老会費、万円をの他雑費一萬圓となつており委員は三部に編成し

成人の日に寄せて

ふんどし祝

高田尚男

成年式とは、一人前の男になつたことを、社會的に認められる式のことである。それは、この一人前という言葉の持つ意味は、結婚をする資格が来た、大人と同じように働く力が出来た、ということである。

輪界の王座

富士自轉車

各委員長を次のように選任した

企画部 山口金太郎

経理部 若松久馬

町村配給主任の打合せ

石城地方事務所では十四日午前九時より会議室に町村各町の配給主任を招き、町村配給主任の打合せを行った。

石油割當協議會

十八日飯坂温泉にて

縣經濟部では縣下の各漁業協同組合事務担当者並びに水産関係石油販賣店を招き、十八日午後二時から飯坂温泉のちのく荘に石油割當協議會を開き、協議した。

主食の通帳

交換は登録店

小名浜町の昭和二十七年食糧配給法に基づき、主食の通帳を登録店と交換する。登録店は、(1)石油割當及び今後の見通しについて、(2)調整割當石油の繰上について、(3)前借量今後の補填対策について。

珠算競技の内容

試験委員の顔振決定

小名浜商工会主催、本社後援の三町二カ村珠算競技会は既報の如く一月十七日(舊元日)午前十時より小名浜第一小学校講堂で行われるが、高橋専務、同伊藤専務が試験委員の顔振を決定した。

植田町の選

管委決定

植田町選挙管理委員會は一月十一日午前九時より役員會議室に於いて委員の改選を行い、委員長に小野忠信氏が再選委員には次の三氏が決定した。

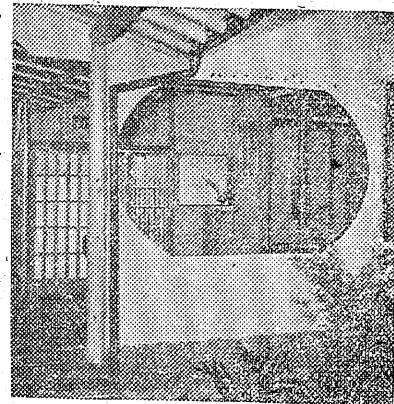
常磐小校の書初展覽會

湯本町常磐小校では書初展覽會を十六日の授業参観日に行

魚菜市況 14

【小名浜中央青果市場】
年券八六八、九、さつま二六〇、馬鈴薯五二、ねぎ六〇、七〇、干大根四五、大根一五〇、冬菜二六〇、三〇、へら一〇、五〇、一六〇、丸大根一〇、二〇、たまご二八〇、五〇、人参四〇、四三、切干二八〇、二九〇、へら菜六〇、一五〇、白菜三〇、菜三〇、ほうれん草九〇、(魚市場)
くちまご三〇〇、たこ一六八、一七〇、またご三〇〇、ぎざり三〇〇、一四〇、ひらめ一三〇、えび一六五、さめご一五〇、いか一四〇、めた四三五、ほし一五〇

旅の憩は



忘年会に新年宴会に家族連れの旅に... 小名浜町 玉屋旅館 電話 394番

特賣のお知らせ

過般小名浜町竹三〇番地に建築用材店を開業以來皆様の御引立を蒙つておりますが、今回ベニヤ板一枚百九十円にて特賣販売致します。天井板、銘木等も豊富に取り揃えてあります。お電話にて御用命の程お願い致します。

銘木竹
秋田杉
天井板
ベニヤ板
ラワン材
床竹一式
至 江本町通 至 第一小学校

目澤銘木店

小名浜町竹三〇

寒波襲来に備え
メリヤス類の大奉仕
高タカノ洋品店
小名浜本町 TEL338
奉仕期間=一月十三日ヨリ十七日マデ
一割引奉仕券
磐城日日新聞社讀者優待の爲此の券
持参の方に限り高野洋品店にて御買上金額の一割引を致します
磐城日日新聞社

